

○8月16日(土)調査結果の報告

天候:くもり晴れ 気温:27.8℃

	水温	水質 (PH/COD)	透視度	網キラーで捕れた生き物
地点①	28.2℃	7.0/6	59.0cm	アメリカザリガニ 2 匹・スジエビ 20 匹・トウヨシノボリ 2 匹・エビノコバン 1 匹
地点②	27.9℃	7.0/6	71.0cm	クロダハゼ 11 匹
地点③	28.1℃	7.0/6	77.0cm	トウヨシノボリ 2 匹・クロダハゼ 4 匹
地点④				クロダハゼ 4 匹
地点⑤	28.0℃	7.0/8	63.0cm	スジエビ 4 匹・クロダハゼ 1 匹・カワリヌマエビ 1 匹・エビノコバン 2 匹

※地点 4 は、地形上沼水の採取が不可能なため、生き物のみの調査。

※水質調査は、「誰でもどこでもできる水質測定パックテスト」(共立理化学研究所監修)を使用。
COD は低濃度対応のもの。

※透視度計は、高さ 1m でケニス株式会社監修のものを使用。

-考察-

- ・先月より気温が約 3℃低下したことに伴い、水温は先月より約 1～2℃上昇した。生き物については引き続き数多くのスジエビの生息が確認出来たが、あわせてカワリヌマエビも確認された。
- ・PH はやや低い数値であったが、生き物が暮らせる中性数値を保っていた。COD は高い数値を示しており、魚類のエサとなる植物プランクトンが多くいる状態で保たれていると思われる。透明度は、各地点で数値に差があるものの先月よりも隔たりは少なかった。